



クラス・ページの使用

Version 2024.1
2024-06-03

クラス・ページの使用

InterSystems IRIS Data Platform Version 2024.1 2024-06-03

Copyright © 2024 InterSystems Corporation

All rights reserved.

InterSystems®, HealthShare Care Community®, HealthShare Unified Care Record®, IntegratedML®, InterSystems Caché®, InterSystems Ensemble®, InterSystems HealthShare®, InterSystems IRIS®, および TrakCare は、InterSystems Corporation の登録商標です。HealthShare® CMS Solution Pack™ HealthShare® Health Connect Cloud™, InterSystems IRIS for Health™, InterSystems Supply Chain Orchestrator™, および InterSystems TotalView™ For Asset Management は、InterSystems Corporation の商標です。TrakCare は、オーストラリアおよび EU における登録商標です。

ここで使われている他の全てのブランドまたは製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

このドキュメントは、インターシステムズ社(住所: One Memorial Drive, Cambridge, MA 02142)あるいはその子会社が所有する企業秘密および秘密情報を含んでおり、インターシステムズ社の製品を稼働および維持するためにのみ提供される。この発行物のいかなる部分も他の目的のために使用してはならない。また、インターシステムズ社の書面による事前の同意がない限り、本発行物を、いかなる形式、いかなる手段で、その全てまたは一部を、再発行、複製、開示、送付、検索可能なシステムへの保存、あるいは人またはコンピュータ言語への翻訳はしてはならない。

かかるプログラムと関連ドキュメントについて書かれているインターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載されている範囲を除き、ここに記載された本ドキュメントとソフトウェアプログラムの複製、使用、廃棄は禁じられている。インターシステムズ社は、ソフトウェアライセンス契約に記載されている事項以外にかかるソフトウェアプログラムに関する説明と保証をするものではない。さらに、かかるソフトウェアに関する、あるいはかかるソフトウェアの使用から起こるいかなる損失、損害に対するインターシステムズ社の責任は、ソフトウェアライセンス契約にある事項に制限される。

前述は、そのコンピュータソフトウェアの使用およびそれによって起こるインターシステムズ社の責任の範囲、制限に関する一般的な概略である。完全な参照情報は、インターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載され、そのコピーは要望によって入手することができる。

インターシステムズ社は、本ドキュメントにある誤りに対する責任を放棄する。また、インターシステムズ社は、独自の裁量にて事前通知なしに、本ドキュメントに記載された製品および実行に対する代替と変更を行う権利を有する。

インターシステムズ社の製品に関するサポートやご質問は、以下にお問い合わせください:

InterSystems Worldwide Response Center (WRC)

Tel: +1-617-621-0700

Tel: +44 (0) 844 854 2917

Email: support@InterSystems.com

目次

クラス・ページの使用	1
1 クラス・ページの概要	1
2 クラスのコンパイル	2
3 クラスのエクスポート	2
4 クラスのインポート	3
5 クラスの削除	3

クラス・ページの使用

管理ポータルには、クラスを管理するためのツールが用意されています。このページでは、それらのツールの使用方法を説明します。

1 クラス・ページの概要

管理ポータルには[クラス]ページがあり、このページでクラスを管理できます。このページでは、次の操作を実行できます。

- ・ クラスの行で[ドキュメント]を選択して、右ペインに該当クラスのドキュメントを表示する。
- ・ [コンパイル]を選択してクラスをコンパイルする。
- ・ [エクスポート]を選択してクラスをエクスポートする。
- ・ [インポート]を選択してクラスをインポートする。
- ・ [削除]を選択してクラスを削除する。
- ・ [ルーチン]を選択してルーチンを表示する。
- ・ [グローバル]を選択してグローバルを表示する。

管理ポータルのホーム・ページからこのページにアクセスする手順は以下のとおりです。

1. [システムエクスプローラ]→[クラス]を選択します。
2. 目的のネームスペースまたはデータベースを選択します。
 - ・ 左ペインで、[検索]リストから[ネームスペース]または[データベース]を選択します。
 - ・ 2番目のドロップダウン・リストから目的のネームスペースまたはデータベースを選択します。

ネームスペースまたはデータベースを選択すると、ページが更新され、そのクラスが表示されます。

3. 特定のクラスを探していて、その名前が最初に見つからない場合は、以下の操作を行います。
 - ・ 必要に応じて、[システム・アイテム]、[生成されたアイテム]、または[マップされたアイテム]を選択し、選択されたタイプのクラスを検索で含めます。
 - ・ 必要に応じて、検索マスクを指定します。そのためには、[クラス名]フィールドに値を入力します。文字列の末尾にアスタリスク“*”を付けると、そのアスタリスクはワイルドカードとして処理され、アスタリスクの前の文字列で始まる名前を持つ各クラスがページに表示されます。

値を入力したら、[Enter]を押します。

- ・ 必要に応じて[開始日]と[終了日]を指定して、検索する日付の範囲を指定します。[日付]列には、クラスが最後に変更された日付が指定されます。
- ・ 必要に応じて[最大行数]に値を入力します。これにより、返される行の最大行数が決定されます。
- ・ 中央ペインで、必要に応じて[ページサイズ]に値を入力します。これにより、ページにリストされるクラスの数が増減します。

2 クラスのコンパイル

[クラスコンパイル] ウィザードには、クラスをコンパイルするための複数のオプションが用意されています。

このウィザードにアクセスして使用するには、次の手順を実行します。

1. [\[クラス\] ページ](#)を表示します。
2. コンパイル対象のクラスを指定します。これを行うには、“[クラス・ページの概要](#)” セクションの手順 2 と 3 を参照してください。対象クラスのチェック・ボックスを選択します。
3. **[コンパイル]** ボタンをクリックします。これにより、**[クラスコンパイル]** ウィザードが表示されます。
4. **[クラスコンパイル]** ウィザードで、使用する [\[コンパイルフラグ\]](#) を指定します。それには、対応するチェック・ボックスを選択するか、**[フラグ]** に手動で入力します。既定では、**[フラグ]** は `cuk` に設定されています。
5. 多数のファイルまたは大容量のファイルをコンパイルする場合には、**[コンパイルをバックグラウンドで実行する]** チェック・ボックスを選択します。
6. **[コンパイル]** ボタンをクリックします。**[クラスコンパイル]** ウィザードに、コンパイルの状況に関する情報が表示されます。
7. ウィザードを閉じるには、**[完了]** をクリックします。

3 クラスのエクスポート

[クラスエクスポート] ウィザードでは、クラスをエクスポートできます。

このウィザードにアクセスして使用するには、次の手順を実行します。

1. [\[クラス\] ページ](#)を表示します。
2. 操作対象のクラスを指定します。これを行うには、“[クラス・ページの概要](#)” セクションの手順 2 と 3 を参照してください。チェック・ボックスを選択します。
3. **[エクスポート]** ボタンをクリックして、**[クラスエクスポート]** ウィザードを表示します。
4. **[クラスエクスポート]** ウィザードで、クラスをエクスポートするファイルを指定します。ファイルを指定するには、そのファイルの絶対パス名または相対パス名を **[エクスポートするファイルのパスと名前を入力する]** フィールドに入力するか、**[参照]** をクリックして目的のファイルに移動します。
5. **[文字セット]** リストを使用して、エクスポートするファイルの文字セットを選択します。
6. 多数のファイルまたは大容量のファイルをエクスポートする場合には、**[エクスポートをバックグラウンドで実行する...]** チェック・ボックスを選択します。
7. **[エクスポート]** をクリックします。
8. そのファイルが既に存在する場合は、**[OK]** を選択して、そのファイルを新しいバージョンで上書きします。
9. ウィザードを閉じるには、**[完了]** をクリックします。

4 クラスのインポート

[クラスインポート] ウィザードでは、クラスをインポートできます。

このページにアクセスして使用するには、次の手順を実行します。

1. [\[クラス\] ページ](#)を表示します。
2. **[インポート]** ボタンをクリックして、**[クラスインポート]** ウィザードを表示します。
3. **[クラスインポート]** ウィザードで、**[ファイルまたはディレクトリからインポート]** で対応するラジオ・ボタンを選択して、ファイルまたはディレクトリからのインポートを選択します。
4. インポートするファイルまたはディレクトリを指定します。ファイルまたはディレクトリを指定するには、そのファイルの絶対パス名または相対パス名を**[インポートするファイルのパスと名前を入力する]** フィールドに入力するか、**[参照]** をクリックして目的のファイルまたはディレクトリに移動します。
5. ディレクトリからインポートする場合、**[サブディレクトリを含む]** を選択またはクリアします。
6. **[インポートしたアイテムをコンパイル]** を選択またはクリアして、**[コンパイルフラグ]** を入力します。
7. 大容量のファイルをインポートする場合には、**[インポートをバックグラウンドで実行する]** を選択します。
8. **[インポート]** をクリックします。**[クラスインポート]** ウィザードにインポートの状況に関する情報が表示されます。
9. ウィザードを閉じるには、**[完了]** をクリックします。

注釈 このページでは、XML フォーマットでエクスポートされたクラスをインポートできます。古いフォーマットはサポートされません。

5 クラスの削除

注意 削除したクラスはリストアできません。元に戻すためのオプションはありません。

[クラス] ページでは、クラスを削除できます。このページにアクセスして使用するには、次の手順を実行します。

1. [\[クラス\] ページ](#)を表示します。
2. 操作対象のクラスを選択します。これを行うには、“[クラス・ページの概要](#)” セクションの手順 2 と 3 を参照してください。対象クラスのチェック・ボックスを選択します。
3. **[削除]** ボタンをクリックします。
4. **[OK]** をクリックし、この操作を確定します。

